

令和3年度 第4回定例(7月)教育委員会議・会議録

令和3年度第2回定例教育委員会議が、令和3年7月29日(木)午後2時00分に役場第5会議室に招集された。

議 事 日 程

- 第1 開 会 午後2時00分開会
- 第2 教育長挨拶
- 第3 令和3年度第3回議事録の承認 承認
- 第4 教育長活動報告(別紙資料)
- 第5 報告事項
- 報告1 第2回臨時議会(7月)の結果について 了承
- ・補正予算について
 - ・行政報告について
- 第6 審議事項
- 審議1 令和2年度の猿払村教育委員会事務事業の点検及び評価について 承認
- 審議2 学校における働き方改革「猿払村アクション・プラン」(第2期)の策定について . . . 承認
- 審議3 令和3年度全国学力・学習状況調査及び令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載に係る同意について 承認
- 第7 活動計画 令和3年7月30日(金)～令和3年8月26日(木)までについて . . . 了承
- 第8 協議事項
- 協議1 次回教育委員会議の開催について 承認
- 次回会議 とき：令和3年8月26日(木)14時00分～
- 第9 閉 会 午後3時00分閉会

議事録署名委員

原 本 署 名 済

議事録作成職員 教育次長 阿部 孝好

第3回定例(7月)教育委員会議出席者名

〔出席委員〕	教育長職務代理者	桧 物 誠
	委 員	榛 澤 弘 章
	委 員	近 野 由 恵
	教 育 長	眞 坂 潤 一
〔出席職員〕	教 育 次 長	阿 部 孝 好
	教育次長補佐	鈴 木 淳 司
	給食センター所長	西 口 亮 一
	教 育 指 導 員	浅 野 孝 一

- 阿部教育次長：皆さんお揃いですので始めてもよろしいでしょうか。後ほど冷たい飲み物を持ってきますので、お待ちください。それでは、お暑い中ご苦労様です。第4回猿払村教育委員会議を開催致します。教育長よりご挨拶致します。
- 眞坂教育長：はい。大変暑い中、お集まりをいただきましてありがとうございます。62年ちょっと生きていますが、こんなに暑い日が続くのは本当に記憶が無いです。予報では島でちょっと30度近い気温があるということですので、もうちょっと辛抱しなきゃいけないかなというふうな思いでもいます。好天に恵まれて、ホタテ漁の方は順調に水揚げを伸ばしているようです。が、酪農の方は2番草が枯れてしまって、今買っている状況で。3番にかけるしかないなって、本当に農家さんは苦慮されているようです。その他にも、今、水道水もかなりピンチな状態ですので、これから雨が来ないと色々また皆さんの方にご迷惑を掛ける事態になろうかなということも想定されるので、早く雨が欲しいです。正直なところ。ま、余談は別にして、今日は暑い中ですので今日用意した議案について次長の方から淡々と説明、それから協議内容についても皆さんのご意見を伺いたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。
- 阿部教育次長：はい。それでは続いて、前回の『議事録の承認』をいただきたいと思います。内容についてはご確認いただけていたかなと思いますので、署名の方お願い致します。

《各委員署名》

- 阿部教育次長：はい。ありがとうございます。それでは続いて『活動報告』教育長より行います。
- 眞坂教育長：はい。それでは資料1をご覧ください。7月1日から今日までの間の主な活動についての報告であります。全部は申し上げませんので、主なものだけ抽出して、説明させていただきます。7月2日。村内5年生の合同学習会っていうのが開催されました。例年ですと、1泊2日で稚内少年自然の家で行われる事業ですが、コロナの影響によって一日日帰りで村内の5年生を農村環境センターに集めて学習会を開いております。それから、7月3、4日とコロナワクチンの接種業務の支援ということで、職員が何名かお手伝いしております。それから、7月8日の日には稚内地方法人会さんから、宗谷管内の小学生を対象に図書カード等をお贈りしたいということで、法人会の代表の方がうちの方に見えられて、図書カードと冊子を受け取りさせていただきました。各学校の方に直接、物については送付されて子供たちに配られております。それから、7月10日、11日に宗谷地区の中体連の球技大会が稚内市で開催されております。拓中生、それぞれの種目で頑張りましたが、残念ながらこの日で全道大会出場権を獲得、ということにはならなかったようです。それから7月15日の日、拓中の部活で全道大会が決ま

った子供たちが役場を表敬訪問して下さいました。剣道、個人戦で2年生の山口さん、1年生の川谷君。そして野球部は3年生のキャプテンが来てくれました。それとバトミントンで上野君がやはり全道ということで全部で4人の生徒さんが全道大会出場への抱負を語ってくれました。それから次の日、7月16日に知来別小学校の子供たちが総合的な学習ということで役場に来て下さりまして、役場の課の色々な仕事の内容を質問したりですね、担当の職員から色々な話を聞いておりました。教育委員会も教育委員会の仕事、それから給食センターの仕事ということで質問を受けております。それから、次の日19日の月曜日には臨時議会が招集されて、後ほど次長の方からも説明あるかと思いますが、教育関係の予算等も承認をいただいたところでありまして。それから同じ日に、公立高等学校配置計画地域別検討協議会というのが開かれまして、WEBで開かれたんですけども、議会終わってからの参加をさせていただきました。宗谷管内の高校においては、令和6年に利尻高校、今二間口あるんですけど、一間口という形が今のところ北海道教育委員会では、考えているという内容の説明でありました。そういった面で利尻町の、それから利尻富士町の教育委員会、学校関係者からは、是非二間口普通科と商業科なんですけど、子供たちの選択肢を増やす意味では是非残して欲しいという要望が上がっておりました。それから7月21日。各小中学校で終業式が行われて、翌日の22日から夏休みに入りました。8月16日までの間ということであります。それから7月26日。学校支援員研修会ということで、今9名の支援員さんお願いしておりますけれども、ここを会場に集まって頂いて、稚内市の教育室相談所の本間所長さんに来ていただきまして、お話をさせていただきました。学校支援員としてどう子供に向かっていったらいいかという日々の悩みだとか、そういうことが解消出来たいという取り組みであるということで、これは継続的に進めていきたいというふうに思っております。それから27日には、情報教育の推進委員会。これもWEBで開催を致しました。教員の担当それから各学校の代表の方での意見交換を行っております。それから本日ですけれども、午前中に、ジュニアスイミングスクールということで、稚内市の水夢館の方に行って、スイミングスクール1回目を開催しております。ここに書いていないんですけども、情報教育の関係では、北海道の教育研究所の市町村教委連携事業というのを活用しまして、研修講座を8月の31日でしたっけ？予定しております。ICTを使った授業をどういうふうにしたらいいかという現場の悩みについてを中心にですね、研修ができたというふうに考えているところです。今のところ教員54名の方がそれに参加して下さいという報告を受けております。主な活動内容です。以上でございます。

○阿部教育次長：続きまして、5番『報告事項』に移ります。すいません。報告2番ではなくて報告1番の誤りです。『第2回臨時議会の結果について』ということで先日、7月19日に臨時議会がありまして、その中で教育委員会の関連する議案提出させていただいております。事後報告となってしまったことお詫び申し上げます。先ず、予算なんですけども、本来この臨時議会ではなくて6月の補正予算提出を検討していたんですが、準備が整わずということで、今回の臨時議会に提出させていただきました。農村環境改善センターの暖房設備改修ということで、一昨年に個別の部屋の暖房器については集中式からFF暖房式に、変更する改修を行ってですね、それで一定程度推移はしていたんですけども、一番メインの小体育館、多目的ホールと呼ばれているところなんですけども、小体育館の暖房器パネルが昨シーズンからかなり不調をきたしている報告を受けております。今度の、令和3年の冬には暖房器の稼働が厳しいという報告も受けておまして、冬までに直すためには手を掛けなければいけないということで急遽多目的ホールを遠赤外線暖房機を設置する工事合わせて一昨年からも止まっておりました床暖房の改修を行いたいということで、予算化させていただいております。その下、小中学生学習意欲向上サポート事業については、当初予算で本来計上すべきところではあったんですけども、コロナ禍で実施が見通せないということで、当初予算では一切計上はしていなかったのですが、札幌教育大学、稚内北星学園大学と協議をし

まして、札幌からの大学生の来村についてはオンラインで実施するというので、夏休み8月実施を予定しております。稚内北星学園大学の土曜学習塾については秋口に実施をしたいということで協議がまとまりましたので、それらの関連経費を予算化させていただいております。行政報告を2本させていただいております。資料2-2をご覧ください。皆さん既に前回の教育委員会議会で承認いただきました宮川さんの教育委員の辞任についての同意がされたということをご報告させていただいております。後任の人選を急ぎたいということでの報告です。合わせて、資料2-3ですが、拓心中学校の全道大会出場に掛かる報告。先ほど教育長が言った内容と全く同じものになりますが、野球部については既にもう大会を終えておりました、1回戦見事勝利し、2回戦で惜しくも敗れるということになったんですが、活躍されております。残る剣道、バトミントンについてはこの夏休み中に大会が行われるということになっております。報告事項は以上となります。『審議事項』に移らせていただきたいと思います。ちょっと資料が厚くなります。こちらの方は事前に中身を見ていただきたいと思いますということで、送付させていただいております。毎年この時期に実施しております教育委員会が行う事業についての点検評価ということで、それぞれまず内部評価を行ったものをこの教育委員会議の中でもご確認をいただきたいと思いますということでの内容となります。前半部分、16ページまではこれまでの活動内容の一覧となっておりますので、ご確認いただければと思います。16ページから教育行政執行方針に掲げるそれぞれの事業について、内容はどうだったのかということでの内部点検し、この後8月に外部評価委員の方にも評価を頂くという事で考えております。事前に送付させていただいておりますので、細かい説明は省略させていただいて、主なもの特徴的なところを抽出して、説明させていただきたいと思います。全体を通して、概ね達成出来たというC、期待通りの達成が出来たBという評価です。一部期待以上の成果があるということでのA評価もあります。改善が必要だということでのD評価は手前味噌ながら今回は無しという条件となっております。まず17ページの一番下段のところなんですが、評価が空欄になっております。こちらについてはコロナ禍で本来やりたいことが出来なかったという事で、評価出来ないということで、評価を空欄とさせていただいております。で、16ページに戻りまして、「全国学力・学習状況調査の関係」もC評価としておりますが、実際に取り組みとして掲げております全国学力・学習状況調査については昨年中止という形になっております。それに代わる宗谷教育局で実施しておりますSサポート事業といったものがあったり、それぞれ学校で定める学力向上プランに基づきということで、学力向上に努めているところです。こちらの関係はこのようなんですが、この17ページの中段にICT機器の関係、昨年度の大きな事業だったんですが昨年度はGIGAスクール構想に基づく一人1台端末の整備構築というところでいきますと、予定通り予定した内容の事業が完了したということで、本格実施は、今年度ということになります。来年度の評価になるかなと思うんですけども、カラーで資料をお配りさせていただいたんですが、このこちらの資料をご覧くださいと思います。実は広報の8月号で掲載される記事となっております。広報の担当係が是非小中学生のタブレットの関係を取材したいということで打診がありまして、是非お願いしたいということで、取材をいただきまして、全部でこれ見開きなので4ページに渡って取材した内容は、小学校4校の取り組み内容ということで、それぞれ取材をしていただいて、実際どのような活動が行われているのかということを見やすく記事にさせていただいたものです。実際取材をしていただいたこの記事を見まして、あ、こんなことをやっていたんだと、私もちょっと驚いた部分があるんですけども、予想以上に学校の方ではタブレットを使った授業が展開されているということがこれを見て、されるかなと思います。どうしても学校差だったり学年差だったりはあるんですけども、学年問わず低学年、1年生から6年生、中学校3年生の子まで。この授業の中でタブレットを使った授業が日常的に行われているという事が、この4・5・6・7わずか4ヵ月でここまで出来ておりますので、今後の更なる活用が期待されるかなというところですので、是非、広

報の8月号巻頭の特集記事となっておりますので、ご確認いただければと思います。評価の方に戻りたいと思います。この外部評価のところで、薄字で書かれているところ、昨年度の外部評価の方で外部評価委員さんからいただいた意見と同じ項目の中で、漏らさないようにと思って残して見えるようにしてあります。それらを意識したつもりではあるのですが課題も含めてそういった意見を踏まえながら、昨年度事業に取り組んできたところです。18、19ページ目をご覧くださいと思います。こちら概ねB評価、C評価とさせていただいたところが中心となります。この中で特徴的なところとしましては、この18ページの下から3段目のところですね。「村費教職員の関係、学校支援員の活用により」ということで、B評価を付けさせていただいたんですけども、昨年の外部評価委員さんから支援員の研修はどんどん実施。そこが1回では足りないんじゃないかというご意見もいただいたところなんですけども、先程教育長のご挨拶にもありました通り7月の26日に、今年度の研修会を実施しまして、なかなか年間2回の設定は難しいんですけども、今年の私がちょっと意識してお願いしたところとしては、昨年度だいたい半数ぐらいの支援員さんの参加だったんですけども、基本的には全員参加して欲しいということで、質の向上を目指しているのも業務として出席して下さいということで、出席の要請を行いまして、9名中7名参加で実施しました。新しい方よりか継続してやっていただいている方が多いので、昨年の研修を踏まえて、スキルアップにつながったのではないかなということ考えております。で、さらに開きまして、20ページ、21ページをご覧ください。この中でも20ページ、真ん中の項目になります「学校運営協議会の活動の推進」というところなんですけども、コロナ禍でも何か出来ることを考えながらやって欲しいというご意見いただいたんですけども、令和2年度は全く実施出来なかったわけではないんですけども、ほぼ全部の学校、5校ありますけども、実際に集合で会議を開催できたのは2校だけとなっております。その2校も3回を予定しているうち1回しか出来ていないということで、ほぼ書面の開催ということで、毎年行わなければならない承認事項が書面で行われ、本来目的としております活発な意見を出し合いながら、学校づくりを考えていきたいと思いますというところについては、昨年出来なかったかなということでもあります。ここもちょっと評価は出来ないということで、評価の欄は空欄とさせていただいております。21ページのところで、こちらの方はA評価付けさせていただいたところも幾つかあります。昨年、中学校、小学校のスクールバスとして、10人乗りのワンボックスを1台、購入したんですけども、こちら逆に昨年買っていなかったらまずかったなというぐらいかなりスクールバスの運行が今過密になっておりまして、1つの要因としては住宅エリアがどんどん拡大しているというところで、一人を迎えに行くために小さいバスを走らせなきゃならないという現状が鬼志別小学校だったり、知来別小学校だったり。来年は特別の子も確か入学の予定がありますので、そういった意味では、昨年ワンボックスの車1台購入しておいて良かったなという評価をさせていただいております。真ん中の「学校給食費の公会計化の検討」というところで、昨年は検討というところだったんですけども、これは実施をするということで方針を決めまして、だいたい準備期間としては半年程度だったんですけども、条例規則が制定。そして実際の実施の準備ということで、時間もない中だったんですけども、給食センターの方を中心に準備を行っていただきまして、今年の4月から公会計化にスムーズな移行が図れたということでの評価をさせていただいております。最後のページ、22ページになります。社会教育の分野になります。こちらB評価、C評価とさせていただいております。本来もっと出来た部分があったかなと思うんですけども、コロナの為に中止という項目が多くありまして、一番上については評価空欄とさせていただいております。一番下の「旧浜猿払小学校の試験的なイベント開催、収蔵物の展示公開」というところで、外部評価委員の方も定期的な催しの実施を期待するというご意見をいただいたところですが、昨年度は何とか2回ということで、実施をさせていただきました。本年度も1回既に実施をしたい予定であったんですけども、ちょうど宗谷管内、猿払村のコロナ感染拡大と

いう時期、終わり気味の頃ではあったんですけども、地域の方のご意見も踏まえまして、9月頃開催をしたいということで今計画をしているところです。かなり端折りましたが、昨年度の教育委員会事業の評価ということで内部評価を行った結果となります。もし私今説明した内容と相違する部分ですとか、ご意見等ありましたらお受けしたいと思いますが、説明していない部分を含めて、どの項目でも結構ですので委員の皆さんからのご意見を伺いたいと思います。よろしくお願い致します。

○検物委員 : いいですか。

○阿部教育次長 : はい。どうぞ。

○検物委員 : 一番最初ですね、16 ページの最初の項目ですね。全国学力調査はなかったんですけども、それに代わるSサポートって言うんですか、それをやったということなんですが、この評価の中で正答率の低さだとか書かれているんですけども、これは実際に他の学校との比較をしたということではないんですか？

○阿部教育次長 : そうですね。後で出てくるんですけども、全国平均、全道平均との対比というのは、昨年は正確なところでは例年と同じ形では出来てはいないんですけども、昨年度の実施した結果の傾向としては、やはりこの記述式の問題の正答率の低さというのが、これまでも見られていたんですけども、昨年度実施したテストからもやはり同様にまだ見られているというところがあったかなというところなんです。なので全国からどのくらい開いているというのは正確には確か出てはいなかったかなと思うんですけども。あくまでうちの結果として、確か算数についても、後半の問題が記述式の問題だったかなと思うんですけど、選択式の回答を選ぶ問題は正解率が一定程度あるんですけども、文章から問題を自分で読み取って計算をして答えを出すというところで、問題の意図をきちんと捉えられていないというところがどうしても特徴として表れているのかなというところですね。今年も既に全国学力・学習調査は終了しましたので、どのくらい改善されているかというのも結果としては近々結果がお見せできるかなと思います。余り劇的に向上はしていないのではというところはあるかなと思うんですけど。まあ、どうしても言い訳になるかも知れないんですけども、人数が限られている部分で毎年同じ学年なので、対象とする人間は変わるんですよ。できる子が多い学年だったらぐっと上がる可能性はあるんですけども、そうでない場合はぐっと下がったりというところもあるんですけど、それが積み重なってどんどんこう差が見られているかなというところですので、人が違うからこの結果はまあ仕方ないねでは済まされないというところあるかなと思いますけど、やっぱり下の学年からの積み上げになりますので、学校の方もそういったところを意識して読解力の向上というのは過去何度も言われていたかなと思うんですけども、算数だったり、国語以外でもそれを意識した授業づくりというのは行っているというふうには聞いてはいるんですが、なかなかやっぱり家庭学習の時間が今だなお短いということであったり、スマホの使用時間であったりなど色々な問題が複雑に絡み合って学力向上というのは永遠のテーマなのかなと思います。

○近野委員 : 17 ページの「ALT の関係」なんですけど、教育委員会と保育所がこう協力していただいて、保育所へ ALT の方が来ていただいて園児と英語で交流をされているので、そのような事も知らない方は知らないと思いますが、すごく村としていい事だなんて思っています。あともう一つ 18 ページの「支援員さんの件」だったんですけども、やはり年々特別支援学級を勧めるようなお子さんも多くなってきている中、保護者の意向で支援員という方もいらっしゃるの、そういう部分ではやはり学校の負担だとか先生の負担だとか支援員さんがいないっていう部分も村としては大きな課題だと思うのでここにも書かれている通り、雇用形態をもう少し改善したりすると、応募して下さる方がいるのかなって思ったり、まずそういう部分で学力も先程出たように低下が繋がってきているのは、そこから始まっているのか、分からないまま学年が進むということが大きな課題かなって思っているの、支援員の待遇だとか雇用の仕方ですね。そういう部分もちょっと力を入れていくとよりいいかなと思います。

- 阿部教育次長：はい。
- 近野委員：人数が少ない村の人材の中から支援員さんを頼むのは、探し出すのは本当に一苦労だとは思いますが、
- 阿部教育次長：今のこの近野さんからのご意見の部分なんですけども、この雇用形態の改善をしながらというところで、昨年度こういう評価をさせていただいて、その改善という、時給を単純に上げるというところも村の制度の中なので簡単にはいかないんですけども、令和2年度から実は実績に見合った時給換算ということで、経験が長い方はどんどんこう、上限は勿論あるんですけども、元々一律で皆同じ時給だったんですけども平和2年度からベテランさんと本当に入ったばかりの支援員さんでは経験値に基づいて差が生まれる雇用形態になりました。もう一つ出来ることとしては、人が少ないならば時間長く出来ないかなということで、今年度から2人、元々5時間勤務が皆さんほとんど。週5日、1日5時間というところがほぼ上限だったんですけども、今9人いる内2人をですね7時間勤務で昼からも授業の中に入ってもらって、今までは午前中までしか支援員さんはいなかったんですけども、一日で最後の授業の時間まで行ってもらえるように勤務形態を改善しました。総務課と何とか交渉して、出来るならばやってくれということで、まとまりましたので。もう少しそれを拡大出来ればいいかなとは思っているんですけども、なかなかやっぱり皆さん配偶者の方の扶養の範囲って働くというところがあって、それを超えられないというジレンマもあったりしてます。なんとか人を増やしてということで、今年度も1名新たに学校の校長先生の奥様なんですけど、そういった人材ももう情報を頼りにまず人の確保、そして待遇の改善というところで、出来ることはどんどんしていきたいなと思っています。
- 近野委員：そうですね。
- 阿部教育次長：どうしてもやはり今、近野さん言われた通り、支援学級に入級というところでは、やはり保護者の方も少し特別感というか、そういったところで敬遠される傾向がどうしてもやはり私も何度か面談に立ち会っているんですけども、支援員さんのサポートを受けられるならばそっちをお願いしたいという人が圧倒的に多いというところが事実ですね。そのようなお子さんがやっぱり鬼志別小学校で多い学年では20人くらいの中に5人も6人も7人もいるととても1人の支援員さんでは補い切れないという現実がありますので、適切な特別支援学級への入級というところも、上の項目と併せて、行っていかなければならないかなと思っています。
- 近野委員：あともう一つ、いいですか。
- 阿部教育次長：はい。
- 近野委員：19ページのフッ化物洗口が始まって、5、6年？7年？
- 阿部教育次長：今中1に突入しましたので7年目ですね。
- 近野委員：ですよね。どうなんでしょうね。結果って言うか、やっぱりやったことによって虫歯とかが減っているんでしょうか？
- 阿部教育次長：私が聞いている限りでは減ってはいないんです。減っていないんですけども、
- 近野委員：そうなんですか。
- 阿部教育次長：ですけれども、やったおかげでこれだけで治まっているという保健師さんの検証結果。もし、やっていなかったらもっとこうなってますよっていうところ。やっている子は持ち上がっているの、同じなので。
- 近野委員：そうですね。
- 阿部教育次長：比較は出来なんですけども、明らかに齲歯の抑制には繋がっていますよというのは数字としては見られますよということでは報告を受けています。
- 近野委員：良かったですね。
- 阿部教育次長：減っているというよりはかは発生を食い止めているというように聞いてますね。
- 近野委員：はい。ありがとうございます。
- 眞坂教育長：学校保健委員会で稚内保健所さんのデータを使いながら。その中では報告されています。
- 近野委員：検証結果を聞いてなかったなど。
- 阿部教育次長：全般的にいかがでしょうか。この評価をもう少し上げてもいいんじゃないかです

とか、逆にこれは良すぎじゃないかというところがあれば、是非お伝えいただきたいなと思います。よろしいでしょうか。

○委員一同 : はい。

○阿部教育次長 : ありがとうございます。こちらを以って、来月外部評価委員さんにもご意見をいただいで、令和2年度の事業の点検評価ということで進めていきたいと思ひます。続いて、審議の事項2番目。資料4番。『学校における働き方改革「猿払村アクションプラン」(第2期)案』ということで、前回内容をご確認いただいた中で、今回の教育委員会議の中で決定させていただきたいということで、提案させていただいたものです。前回、教育委員会議で配付させていただいたものと中身については一切修正しておりません。全く同じものとなっております。学校の先生方からも、これについてのご意見を伺ったところですね、質問は結構来たんですけども、これは納得いかないですとか、もう少し強めて欲しいですとか、修正を求める意見はありませんでしたので、この内容を以って、これから向こう3年間のアクションプランと言うことで、今回の教育委員会議の中で決定させていただき、実際の具体の取り組みを進めていきたいということで考えております。取り組みとしてはですね、早速、来月の校長会議の中で学校の取り組みというところできくと、前回作成した後ですね、改めてこう教育委員会の方からこれについて取り組みを決めて報告して下さいという形は実はしていません、自主的に取り組みをして下さいということで委ねていたんですけども、その結果、一部やっばり学校の校長先生、教頭先生も異動で変わってしまうということもありまして、例えば、定時退勤日の徹底だとかも改めて検証してみると、実は毎月実施というところが達成できていなかったりですとか、そういった細かいところもなかなか実施しきれていなかったというところもありますので、今年度、2回目になりますので、学校の取り組みといったところについては項目を具体化してですね、押しつけではなく学校の中で無理なく実施出来る働き方改革を進めてもらいたいということで考えております。こちらの方は猿払村アクションプラン。案を取って令和3年7月策定という事で、決定させて宜しいでしょうか。

○委員一同 : はい。

○阿部教育次長 : ありがとうございます。審議の3番です。資料5。先ほど話題になりました、『全国学力・学習状況調査併せて全国体力運動能力・運動習慣調査についての「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載に掛かる同意について』ということで、教育委員会議でこちらを同意するということを確認いただいた中で、進めていきたいということで考えております。この資料のですね、昨年実施出来ておりませんので、令和元年、一昨年の猿払村の実際の学力調査の結果となります。このレーダーチャートでしたり、市町村ごとの特徴的な事項をページに分けてずらっと全道の市町村の結果が公表される形になるんですけども、これの公表についてはあくまで市町村が同意するといったものに関して掲載をするという流れになっております。これに同意しないという市町村実際にはいないので、179市町村の結果が一覧で、見て取れることにはなっているんですけども、やはりこう全道、全国の結果も意識しながらというところでは、公表について同意して改善につなげていきたいということで、考えております。きっと、来月かその次のまでにはこの今年実施したレーダーチャートの結果が、報告できるのかなというところで、令和元年度のこのレーダーチャート、小学校がかなり円が小さいということはそれだけ各項目において差があるという結果となっていたというところなんです。中学校においてはかなり良いところと悪いところが極端に差があったという結果となっております。これが2カ年経ちましたので、どのように変化しているかというところも期待をしつつ、こちらについては同意するということでご承認をいただきたいなと思っておりますが、よろしいでしょうか。

○委員一同 : はい。

○阿部教育次長 : はい。ありがとうございます。7番の『活動計画』の方に移りたいと思ひます。明日から約1カ月の予定を報告させていただきたいと思ひます。明日の7月30日ですが、ジュニアスイミングスクールということで水夢館。7月31日も併せ

てジュニアスイミングスクールという、3日間今年は予定しております。併せて村営プールが休止となったということで、スクールに通わなくても稚内の水夢館に行きたいおさんは申し込みをいただいて、バスに同乗して水夢館に行っております。今日、スクール以外の参加者って？

○鈴木次長補佐：結構いましたね。8人ぐらい。

○阿部教育次長：8人。ということはスクールよりか一般利用の方が多ということなので、来週についてはスクールは無いですけども、3日、5日プール送迎のバスを運行する予定となっております。30日には教育長の会議がこれは集合の、稚内行くやつですね。

○眞坂教育長：集合会議です。

○阿部教育次長：稚内で会議があります。もう来年の人事の関係の会議が始まっていくところなんです。7月31日には村のコロナウイルスのワクチン接種の集団接種の日となっております。7月31日と8月7日ですね。こちら職員の方も支援業務ということで業務をすることになっております。8月9日です。先ほど予算の方で若干お話ししました、札幌教育大学からの支援を受けまして、学習意欲向上サポート事業、わくわく学習会ということで、オンラインで札幌と結びまして、浜鬼志別小学校を会場に、1日なんですけども、学習会を実施したいということで考えております。すいません、この予定表に記載していなかったんですが、8月10日です。給食センターの職員全員でしたかね？所長。

○西口所長：はい。

○阿部教育次長：浜頓別の給食センターの方に視察に行くということで予定がされております。浜頓別の給食センターの方が、比較的管内の方では新しい施設で、猿払村の給食センターの改築に向けてもう建物の改築の協議と並行して中身、調理員さんも含めた新たな施設に対応する研修というところでも進めていくという流れになっております。8月22日には拓心中学校体育祭ということで、一昨年までは5月の末に行われていた体育祭なんですけども、やはり天気の良い中で汗をかいてやってもらいたいという学校の意向で、これから8月のこの週で固定してやるということで学校の方では言うておりました。このままいくと熱中症で倒れる子が出ないかどうか心配なところではあるんですけども、夏の太陽の中で体育祭を実施する予定となっております。8月24日です。要対協ケース検討会議の予定なんです。このほか、特段支障がなければ、8月26日の定例の教育委員会会議ということで予定をさせていただきたいと思っております。それでは、『協議事項』なんですけども次回8月26日ということで、予定をさせていただきたいと思っておりますが大丈夫でしょうか。

○榛沢委員：はい、大丈夫です。

○阿部教育次長：それで、ちょっとすいません。お断りさせていただきたいのがですね、先程の、点検評価の関係。8月の20日の前辺りに評価の会議を行って、本来であれば教育委員会にその結果をもって議会に報告という流れになるんですけども、日程の設定上、議会に出す時期のちょうど1日前ぐらいに、この教育委員会会議の前日あたりが確か定例会の議案提出になってしまいますので、ご了承いただければこの点検評価の外部評価のところを追記したのもをもって議会報告の資料とさせていただきたいということも合わせてご承認いただければと思います。本来であれば、こういう意見をいただきましたということで、それを見ていただいて、提出ということになるかなと思うんですけども、そちらの方はすいません。日程の設定の関係上、9月の教育委員会会議の時に、改めてこの2次評価の終わったものをお配りさせていただきたいと思っております。それでは、『その他』ということで、こちらの方、規約に定めは無かったんですけども、宮川委員の退任に際して、本来であれば送別会ということで催したいところではあったんですけども、宮川さんはまだ入院加療中というところもありまして、饒別ということで支出をさせていただきたいということで、FAXでお伝えしていたところだったんですけども、支出させていただきましたので、事後報告となりますがご承認をいただきたいと思います。全体を通していかがでしょうか。よろしいでしょうか。

- 桧物委員 : すいません。今ね、すごい暑い日が続いていて、たまたま学校も夏休みなんですけども、学校にはクーラーというのは無いんですよ？
- 阿部教育次長 : クーラーは無いんです。
- 桧物委員 : 無いんですよ。学校側から付けて欲しい、設置して欲しいという要望というのは特にないんでしょうかね。
- 阿部教育次長 : 具体的にクーラー無いともう厳しいですっていうのは、直接は無いです。これまでは。暑い中で網戸を各教室に付けて、窓を開けても虫が入らないようにということを進めてきていまして、実際もう扇風機じゃとてもじゃないですけど厳しいですっていうところまではなかったんですけど、実際私も昨日、一昨日学校へ行ったらコンクリートの建物って、暑いんですよ。一昨年ぐらいから本州の方で、学校での熱中症が頻発にされたときに、文科省の補助で、学校の空調設備の設置ということも補助メニューに追加されて、結構学校にクーラー付いてき始めたところもあるんですけども、うちの学校現場の要望としてクーラーを是非設置して下さいというのは無く、実際に付けるとすると多分、もの凄い設備整備費プラス維持費の電気代がきつともう、もの凄い数字になるだろうなと思うんですけど。
- 桧物委員 : そうですよ。ま、保健室に設置するとかね。そういうのがあるかというのかなと思うんですよ。
- 阿部教育次長 : そうですよ。部分的でももしかすると多分今後は。平年気温も見直されて上がったという話もあるんで、今大丈夫だからずっとこの先大丈夫だということは無いかもしれないですね。もしかすると 10 年後は各教室に付いているかも知れません。今保育所は全室クーラー付きでしたか？
- 近野委員 : はい。縦クラスは付いてないですね。
- 阿部教育次長 : 縦クラスは無し。学童の部屋でしたか。
- 近野委員 : 学童と未満児の部屋と支援室には付けてもらいました。縦割クラスは無いので暑いです。
- 阿部教育次長 : 暑いですよ。人数多いとまた、体の熱も相まってあの空間が凄い密な空間になるんで。
- 桧物委員 : まあ、いずれは考えなきゃだめなことなのかなと思いますけどね。
- 阿部教育次長 : そうですね。一昔前はそれこそ家にもクーラー付いている家も物珍しいぐらいでしたけど、今は割と珍しくなくなってきているんで。学校に扇風機自体もほとんど無かったんですよ。今までは。網戸だけでしたが、去年、換気のためサーキュレーターを結構入れて、その代わりということで扇風機も去年一気に入っているんで、窓を開けて網戸で、教室もドアは基本的に開けて換気をして下さい、ということなので、それでサーキュレーターだったり大型の扇風機回して、幾分それでまだまだ暑さを耐え凌いでいますけど、今日のような天気だときっと暑いだろうなと。
- 桧物委員 : そうですね。
- 西口所長 : 15 年前ぐらいは網戸も無かった。ハチが入ってくる、虫が入ってきたということで、私が教育委員会いた時に初めて付けたんですけど網戸を。ただその時はその当時の校長ではこの場所に網戸があればいいということだったんですが、何年かして、更にあっちもこっちも欲しいということになって、今はほとんどついてるじゃないですか。網戸自体は。
- 阿部教育次長 : 元々は暑いのでというよりは、開けた時に虫が入って来るのを防ぎたいというか、ハチだとかアブだとか。
- 西口所長 : 車もね、今は標準でエアコン付くようになってるから。
- 桧物委員 : そうですね。
- 西口所長 : そのうち付くようになるかもしれないですね。新築の家はほとんどついてますし。
- 桧物委員 : 付いてますよね。
- 阿部教育次長 : よろしいでしょうか。それでは、暑い中本当にお疲れさまでした。会議を閉じたいと思います。お疲れ様でした。
- 眞坂教育長 : ありがとうございます。

《終了》